

---

# 生涯貴女を守ります

亜紅亜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

生涯貴女を守ります

### 【Nコード】

N1958Z

### 【作者名】

亜紅亜

### 【あらすじ】

ある日おこった事件、特定の人物だけを狙う連続殺人だった。それはある男の逆恨みからくるものだった。その男に蘭が狙われて  
――？

## 1話

「ごめんな…蘭」

新一の悔しげな声が病室に響いた

新一の握っているシーツは引き裂かれんばかりに握られていた…

「昨夜、女子高校生が男に刃物で襲い掛かれ重傷を負う事件がありました。警察の調べでは例の連続殺人犯によるものと判明しました。

今までの被害者は共通点があり、皆死亡するまで犯行に及んでいることが分かりました」

「…怖いね。新一」

蘭は工藤邸に訪れ二人でゆったりと日曜日を過ごしているとところだった。

「そうだな。俺、昨日警視庁に行ったから目暮警部に聞いてみたんだけど…

その共通点が、空手をやってる、って事なんだよ」

「っあ、あたしもじゃない！」

「ああ、空手をやっている女子高校生なら上手い、下手関係なく殺している。有段者の人も殺されちゃったからな…」

新一は悔しそうに言った

その目にはいつも犯人を追い詰めるときなどの鋭い眼差しだった

「だから蘭も気をつけろよ。犯人がこの近辺にいないとは限らないんだからな」

「うん…」

蘭は明らかに不安そうだった

「大丈夫だよ。心配すんな！お前は俺が守ってやつから！」

そう言って蘭を抱きしめた

だが、この二人は恐怖を味わうことになる

互いの優しさが互いを傷つけあうなんて、知る余地も無しで――――

## 1話（後書き）

他にも連載あるんですが…

大丈夫です！

これは結末もう頭の中にあるんで！

明日にでも終わるかもです！！！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1958z/>

---

生涯貴女を守ります

2011年12月7日00時55分発行